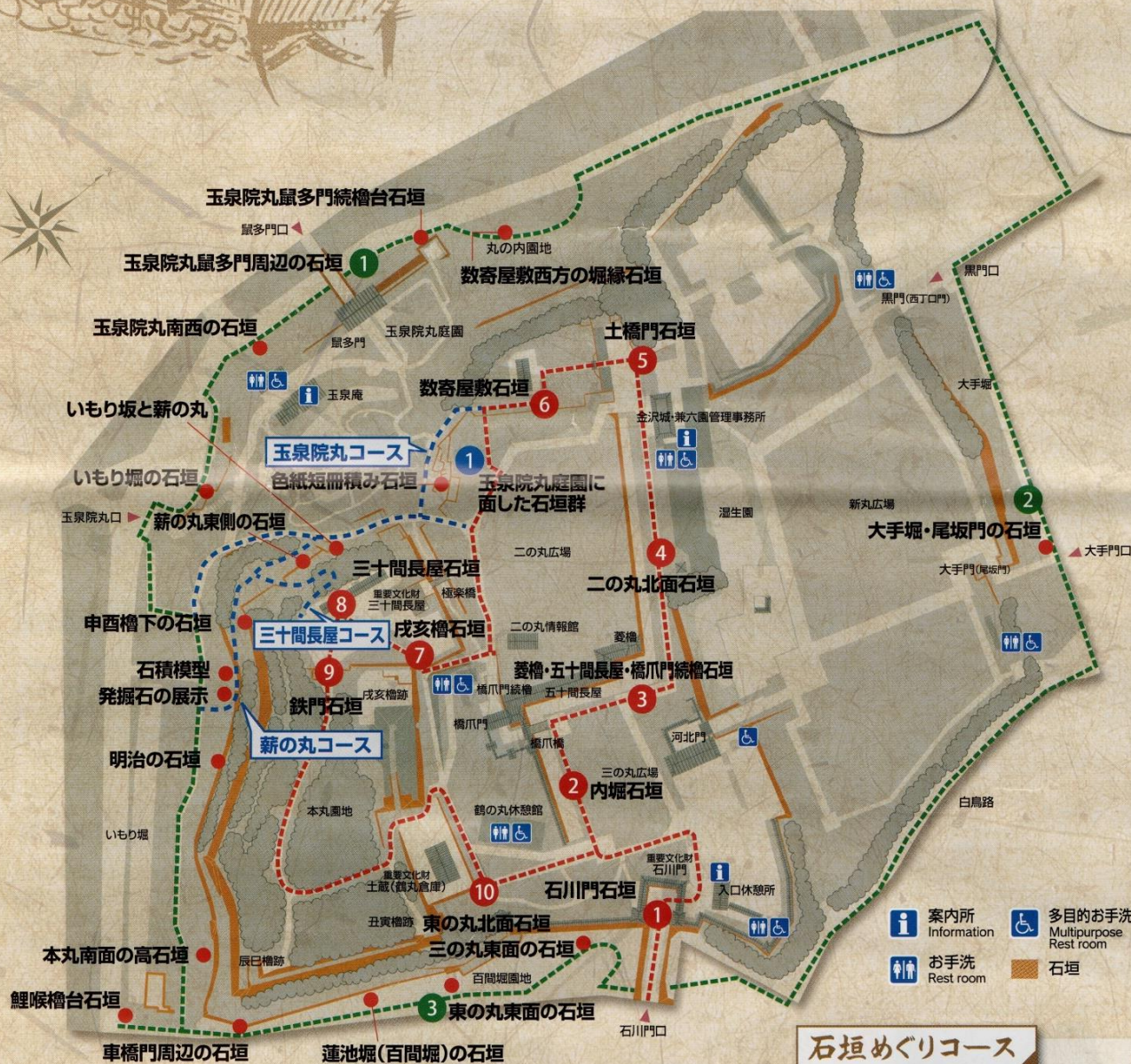


金沢城 石垣巡り

金沢城は「石垣の博物館」。石たちのささやきに耳を傾けてみませんか。



主な石積みの技法

自然石積み



自然の石や粗割りしただけの石を用いて積む技法で、東の丸周辺など古い時期の石垣に見ることができます。

粗加工石積み



形の整った粗加工石を用いて積む技法で、二の丸などの郭の外周などに見ることができます。

切石積み



割石をさらに加工した切石を用いて、隙間なく積む技法で出入口など重要な部分の石垣に見ることができます。

石垣めぐりコース

城内ルート

①～⑩ 約1.5km

城内外連絡ルート

① 約0.4km

城外周ルート

①～③ 約2.1km

※各地点には解説板が設置されています

金沢城の石垣めぐり



① 石川門石垣

この石垣は、右と左で積み方が違います。右側は「切石積み」、左側は「粗加工石積み」となっています。同じ場所で違う積み方をした珍しい例で、明和2年(1765)の改修時のものと考えられています。



② 内堀石垣(鶴の丸付近)

この内堀は、平成11年から12年にかけ、菱櫓や五十間長屋などとともに復元されました。寛永8年(1631)の大火の後、二の丸を守る堀として造られたといわれています。



③ 菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓石垣

ここから見える三の丸側が「粗加工石積み」、裏手の二の丸側が「切石積み」となっています。「粗加工石積み」の多くは郭の外周などに、「切石積み」は出入口など重要な所によく見られます。



④ 二の丸北面石垣

この付近の石垣は、形や大きさをそろえた粗加工石が積みまれています。「粗加工石積み」の中でも、最も完成されたものといわれており、加賀藩の石垣技術者、後藤彦三郎は、「城内でも指折りの石垣」とほめたたえています。



⑤ 土橋門石垣

この石垣は、「切石積み」の技術が用いられ、土橋門の土台になっていました。石垣に組み込まれた六角形の石(亀甲石)は、水に親しむ亀を表したもので、防火の願いが込められています。



⑥ 数寄屋敷石垣

石積みの技法は、石の表面を長方形に仕上げた「切石積み」で、刻印が見られる石垣は寛文頃の改修時のものです。刻印は石を切り出す時の作業分担などを示すために付けられたともいわれています。◎印や田印などの刻印を探してみてください。



⑦ 戌亥櫓石垣

この石垣は、「粗加工石積み」の積み方をしていますが、石の隙間に平らな石をはめ込み、「切石積み」のように見せる技法が用いられています。長い年月の間に石が抜け落ちますが、当時の巧みな技術を見ることができます。



⑧ 三十間長屋石垣

この石垣の積み方は「切石積み」の技法で積みまれているが、表面の縁取りだけをきれいにそろえ、内側を粗いまゝにしておく「金場取り残し積み」という技法が用いられています。



⑨ 鉄門石垣

「切石積み」の技法は、城の重要な部分に用いられています。本丸への入り口となるここ鉄門の石垣にも、「切石積み」が見られます。石の表面を多角形に加工したすぐれたデザインで、丁寧な造りになっています。



⑩ 東の丸北面石垣

この石垣は、城内で最も古い技法が用いられており、金沢城の初期の姿を伝える数少ない貴重なものです。自然石や粗割りしただけの石を緩い勾配で積み上げた「自然石積み」になっています。



⑪ 玉泉院丸庭園に面した石垣群

玉泉院丸に面した斜面一帯は、趣向を凝らした「切石積み(色紙短冊積み)」の石垣がみられます。石垣の高さや向き、石の積み方から細部の加工に至るまで、表情豊かな石垣群は、玉泉院丸庭園の重要な景観要素であったと考えられています。



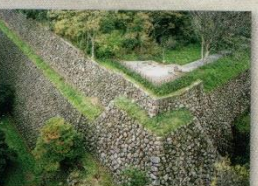
⑫ 玉泉院丸鼠多門周辺の石垣

藩政期には金沢城の一部であった金谷出丸(現尾山神社)と玉泉院丸を結ぶ木橋と門があり、令和2年に復元整備しました。明治17年に門が焼失したことにより石垣を積み足して閉塞させていた門開口部も復元整備に伴い、復元しました。石垣は土手の上部に石垣を巡らす「鉢巻き石垣」となっています。



⑬ 大手堀・尾坂門の石垣

堀際にある粗割り石を積み上げた石垣は、金沢城初期(慶長)の石垣です。この頃、尾坂から河北坂を経由して本丸へ至る大手筋の要所が石垣で固められました。大手門にあたる尾坂門の石垣は、「鏡石」と呼ばれる大型の石が組み込まれ、風格ある意匠が特徴です。寛政11年(1799)の地震で崩れ、翌年修復されました。



⑭ 東の丸東面の石垣

金沢城で本格的な石垣造りが始まった文禄元年(1592)に造られた城内最古の高石垣です。最上段の6m分は小段をつけて積み上げているものの、石垣の総高は21mに達し、文禄期の石垣としては日本有数の規模を誇る「自然石積み」石垣です。

Ver 1.01

お問い合わせ先

石川県金沢城・兼六園管理事務所
TEL 076-234-3800 FAX 076-234-5292
URL <http://www.pref.shikawa.jp/siro-niwa/japanese/top.html>

金沢城・兼六園
現地解説は
金沢城ARアプリ

お問い合わせ:石川県金沢城調査研究所 knycastle@pref.shikawa.lg.jp

